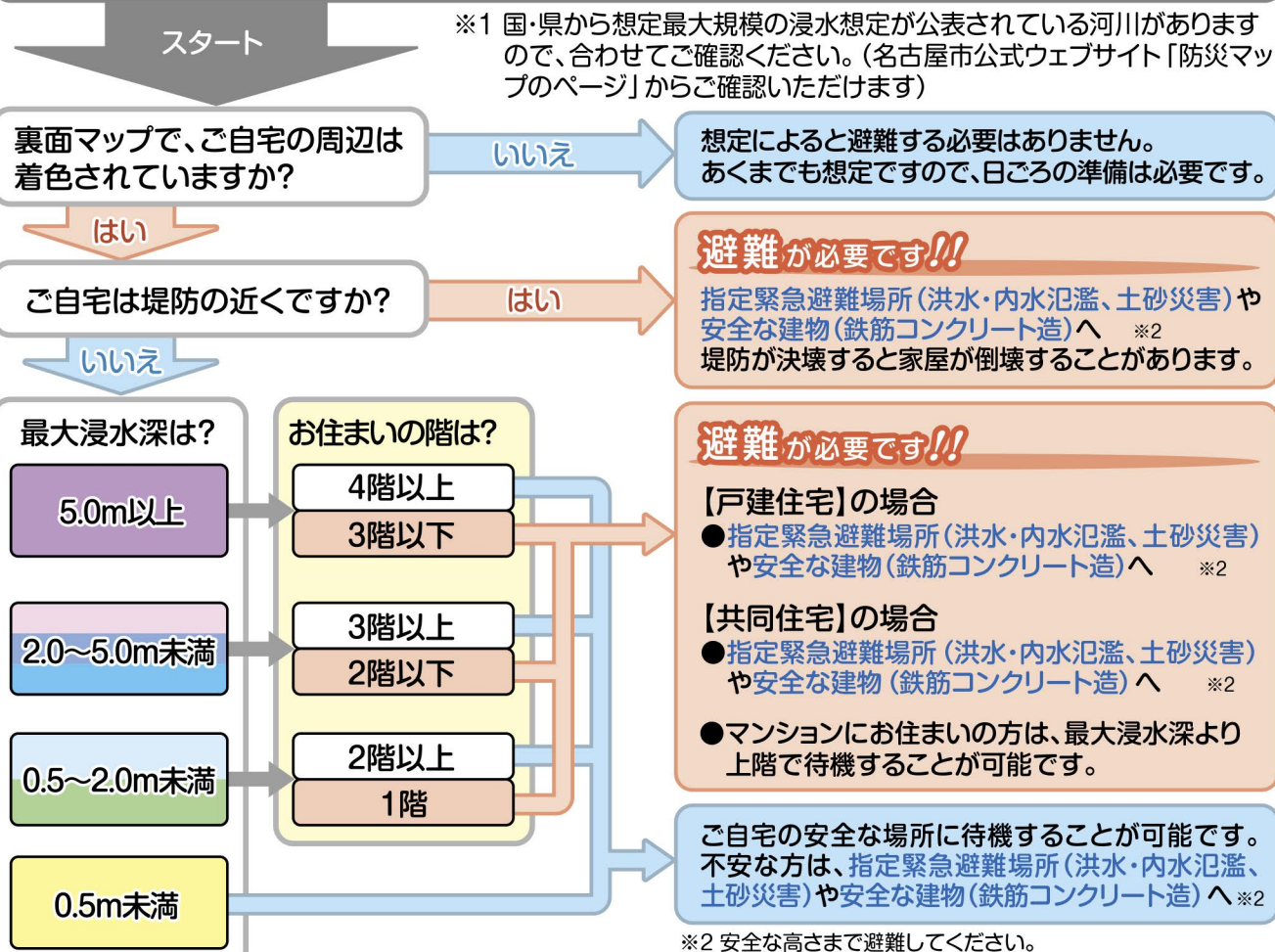


避難行動の目安

浸水時の行動

浸水に対して 洪水（外水氾濫）や内水氾濫の避難の情報が発表された場合や、大雨のおそれのある場合には、**浸水発生前**に下の図を参考にして、適切な行動をとってください。

ご自宅の周辺の最大浸水深（洪水（外水氾濫）や内水氾濫で最も深くなる浸水深）を裏面マップからご確認ください。※1



洪水が発生した場合は、長期間の浸水が予想されます。安全な建物へ避難する場合は、十分な備蓄品が必要となります。

土砂災害に対して 土砂災害の避難の情報が発表された場合には、裏面マップの土砂災害（特別）警戒区域（田）※の区域外へ避難してください。

※名古屋市では、千種・昭和・瑞穂・南・守山・緑・名東・天白区の一部が土砂災害（特別）警戒区域に指定されています。

避難のこころえ

1 長靴は中に水が入って歩きにくくなる。もちろん裸足も禁物。ひもつき運動靴にする。



2 先導する人は、くぼみや溝を確かめるため長い棒を杖にしながら歩く。



3 浸水深が50cm以上になると、避難に際して危険を伴うことがあるので、無理せず周辺の安全な建物へ避難する。



4 非常持出品等の持ち物は背負って。手はなるべく自由に。



5 避難するときは区役所・消防機関・警察機関の指示に従い、デマに惑わされずラジオ・テレビ・広報車等から情報を収集する。



6 自動車はもちろん自転車も厳禁。



7 まずは隣近所の声かけから、地域での「助け合い」を大切に。病人や歩行困難な人は背負って避難する。

